

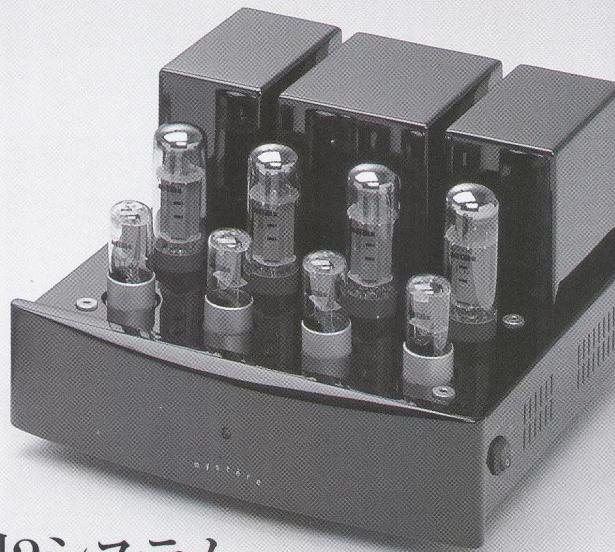


mystère CA21



mystère PA21

mystère CA11



mystère PA11

ハイC/Pなセパレート型2システム。

11ペアはピアノが濡れたように美しく 上位機の21は躍動的で品位が高い

——和田博巳

AH!（アハ）のミイステル・シリーズは、ゴールドムンド社の元チーフエンジニアをリーダーとする技術陣が、3極管ではなく5極管に注目して開発。真先聲の世界に、画期的な位相反転回路とオートバイアス回路技術を持ち込んだ注目すべき管球式アンプだ。

ミイステル・シリーズにはEL34 PPのIA11と、KT88 PPのIA21という2つのインテグレーテッドアンプがあるが、今回はその上位モデル、CA11+PA11と、基本回路は同一だがトランジスタや各部パーツのグレードを上げたCA21+PA21というセパレートタイプを試聴している。いずれも極めて求めやすい価格設定であり、大いに気になる製品である。

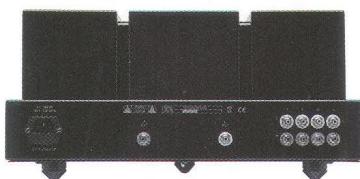
まず、リファレンスシステムのプリアンプのみをエアーティアトATE2からCA11に換えて聴いてみると（パワーアンプはエアーティアトATM3）、その音はしなやかでたいへん瑞々しい。ATE2に対して、やや柔らかく温かい音といつてもいいが、かつてレンジを狭め、角を丸めたような音ではない。ただしATE2とはゲイン設定が異なるようで、高精度な24段ステップの抵抗式ボリュームではあるが、0の位置から1ステップ、2ステップと

ズは、ゴールドムンド社の元チーフエンジニアをリーダーとする技術陣が、3極管ではなく5極管に注目して開発。真先聲の世界に、画期的な位相反転回路とオートバイアス回路技術を持ち込んだ注目すべき管球式アンプだ。

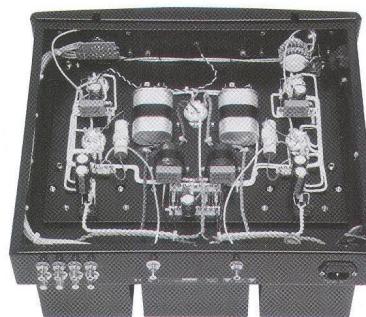
ミイステル・シリーズにはEL34 PPのIA11と、KT88 PPのIA21という2つのインテグレーテッドアンプがあるが、今回はその上位モデル、CA11+PA11と、基本回路は同一だがトランジスタや各部パーツのグレードを上げたCA21+PA21というセパレートタイプを試聴している。いずれも極めて求めやすい価格設定であり、大いに気になる製品である。

まず、リファレンスシステムのプリアンプのみをエアーティアトATE2からCA11に換えて聴いてみると（パワーアンプはエアーティアトATM3）、その音はしなやかでたいへん瑞々しい。ATE2に対して、やや柔らかく温かい音といつてもいいが、かつてレンジを狭め、角を丸めたような音ではない。ただしATE2とはゲイン設定が異なるようで、高精度な24段ステップの抵抗式ボリュームではあるが、0

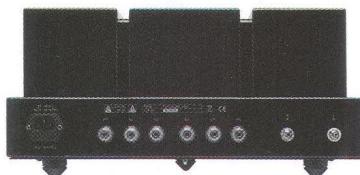
Preamplifier/Power Amplifier



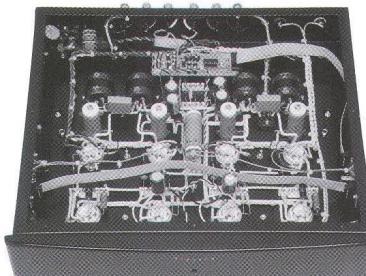
CA21の背面。入力端子はRCAアンバランス4系統。出力端子は同1系統。3点支持の脚部にも注目。



CA21の内部。無帰還、カソードフォロワーによるSRPP回路で構成。手配線仕上げと抵抗式の24段ポリューム(右奥)の採用も特徴。基本回路を共にするCA11より、本機のほうがより大容量の電源トランジスタや高品位なパーツ類を使っている。オプションでフォノボードを搭載可能。



PA21の背面。スピーカー出力は4Ωと8Ωをもつ。



PA21の内部。5極管の長所を引き出す新設計の位相反転回路、オートバイアス回路を搭載。同社自慢のオートバイアス回路によって、KT88とEL34の無調整での差し替えが可能。



PA21の真空管保護カバーを装着した状態。ほかの3モデルも同様のデザインのカバーを付属する。

AH! mystère CA21

¥296,000

- 入力端子:LINE4系統(RCAアンバランス)
- 出力端子:1系統(RCAアンバランス)
- 入力インピーダンス:150kΩ
- 出力インピーダンス:592Ω
- ゲイン:19dB
- 使用真空管:6SN7×4,5AR4×1
- 寸法/重量:W420×H200×D430mm/20kg
- 備考:真空管保護カバー付属。別売フォノボード(¥29,800)あり
- 問合せ先:バック工芸社 0235(25)9807

mystère PA21

¥408,000

- 出力:55W+55W(8Ω)
- 負荷インピーダンス:4Ω,8Ω
- 使用真空管:6SN7×4,KT88×4
- 寸法/重量:W420×H200×D430mm/27kg
- 備考:真空管保護カバー付属。出力管KT88はEL34に差し替え可能

mystère CA11

¥248,000

- 入力端子:LINE4系統(RCAアンバランス)
- 出力端子:1系統(RCAアンバランス)
- 入力インピーダンス:150kΩ
- 出力インピーダンス:592Ω
- ゲイン:19dB
- 使用真空管:6SN7×4,5AR4×1
- 寸法/重量:W420×H200×D430mm/27kg
- 備考:真空管保護カバー付属。別売フォノボード(¥29,800)あり

mystère PA11

¥278,000

- 出力:40W+40W(8Ω)
- 負荷インピーダンス:4Ω,8Ω
- 使用真空管:6SN7×4,EL34×4
- 寸法/重量:W370×H200×D320mm/20.5kg
- 備考:真空管保護カバー付属

上げると、音量変化が大きく、小音量派や微妙な音量コントロールをしたい人にはちょっと使いにくそう。

次にCA11とペアになるPA11(EL34PP)との組合せとすると、純正ペアはボリュームがちょうどよい使いやすさ。B&W800Dで常用音量が10時前後のポジションとなる。このときの音は、相手が800Dということもあり、ATM3と比べるのは価格的に無茶だが、ややスッキリ系の美

音。逞しさはいささか減るもの、しかし、ビル・エヴァンスのピアノは滑らかで濡れたように美しい。5極管アンプシユブルの音とは思えず3極管アンプの音を聴くようだった。

CA21とPA21のペアは、ビル・エヴァンスのピアノがCA11+PA11で聴けた滑らかさや艶やかさを残しつつも、より力強く躍動するようになる。しかもたいそう品質の高い音。PA21はKT88のブッシュユブルだが

34への差し替えが可能で、無調整でOK。これは自慢のオートバイアス回路によるもので、画期的といいたい。

PA21のKT88はそのままEL34への差し替えが可能で、無調整でOK。これは自慢のオートバイアス回路によるもので、画期的といいたい。

輪郭を一切鈍くすることなく、こんなきれいなKT88の音はあまり聴いたことがない。背景のノイズ、観客のざわめきも生々しく、澄んで見通しのいい音だ。ステレオサウンド社CD『ベスト・サウンド・セレクション/ノンサウンド編』から、1曲目のk.d.ラングを聴くと、この生々しいヴォーカルは何なのだろう。凜とした存在感と共に唇の湿り気まで感じができる。アコースティックギターやストリングスも、その豊かな響きと繊細な音色がたまらない。B&W800Dを完全にグリップしているという印象だ。